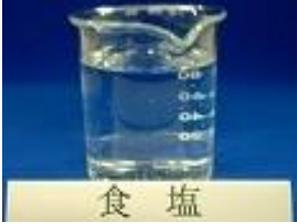


理科

あすなろ学習室「もののとけ方」

5年 組 番 名前 ()

- ① 下の表は、食塩・色のついた砂糖（三温糖）・片くり粉を水の中に入れたときの様子を
示したものです。ア～ウの中から、「水よう液」といえるものをすべて選び、記号で答
えましょう。

	ア	イ	ウ
水の中に入れた ときの様子			

- ② なおとさんは、400 mL の水に 12 g の食塩をときました。できた食塩水の量をメスシ
リンダーではかったところ、408 mL になっていました。できた食塩水の重さは何 g に
なるか、答えましょう。ただし、水 1 mL の重さは 1 g とします。

- ③ ひできさんとゆかりさんは、水よう液にとけ残ったものをとかす方法について、自分の
考えを話し合っています。



ひできさん

とけ残ったものをとかすには、水の量をふやせばいいと思う。



ゆかりさん

とけ残ったものをとかすには、水の温度を上げればいいと思う。

ひできさんとゆかりさんは、自分の考えを確かめるために、「変える条件」と「変えない条件」を挙げながら実験の方法を考えることにしました。ひできさんとゆかりさんの考えを確かめるための実験を行う際の「変える条件」と「変えない条件」を、下のア、イから選び、記号で答えましょう。

ア 水の量 イ 水の温度

ひできさんの考えを確かめるとき		ゆかりさんの考えを確かめるとき	
<変える条件>	<変えない条件>	<変える条件>	<変えない条件>

④ 下の表は、50 mL の水の温度と、とける塩化アンモニウムや食塩の量との関係を示したものです。

<50 mL の水の温度と塩化アンモニウムがとける量>

温度(°C)	10°C	20°C	30°C	40°C	50°C	60°C
とける量(g)	12.4	13.5	14.6	15.7	16.8	17.8

<50 mL の水の温度と食塩がとける量>

温度(°C)	10°C	20°C	30°C	40°C	50°C	60°C
とける量(g)	17.9	17.9	18.0	18.2	18.3	18.5

食塩水の中から食塩を取り出すとき、水を冷やしてもなかなか食塩を取り出すことができない理由を、上の表をもとに説明しましょう。

⑤ ひできさんは、食塩が食塩水の中のどこにあるか疑問をもち、調べることにしました。



ひできさん

食塩は、食塩水の中の全部のところにあると思う。水にとけたものは、まんべんなく水の中に広がっていると思う。

ひできさんの _____ 部の考えを確かめるためには、どのような実験をすればよいか、1つ書きましょう。